

平成17年6月

慶應義塾大学国際関係会・IIR  
OB・OG会 会員各位

IIR/OB・OG会

会長 石原 渥勇

創立50周年記念行事実行委員会

委員長 西室 泰三

IIR創立50周年記念行事催行のご報告とお礼

去る4月24日、好天の下、三田山上において、IIRの創立50周年を祝う集まりを盛大に開催することができました。会員170人、学生会員60人、交換学生OB・OGの他、田中常任理事を始め塾関係者、歴代の顧問の先生、お世話になったホストファミリーなど、総勢260人のご参加がありました。

記念行事催行のための賛助金を拠出頂いた204人の会員の皆さん、記念誌の広告のご協賛を頂いた方々、また、足掛け3年に亘り記念誌制作のために奔走頂いた記念誌編集委員の諸兄姉、更には、昨年3月以来記念行事実施のための牽引役を務めて下さった実行委員の方々、会員の皆さんへの連絡役を引き受けて頂いた各期の代表、当日の運営を一手に担って頂いた学生会員の諸君など、多数の方々のお力添えのお陰で盛会となりました。改めて、心から感謝申し上げます。

ご参加を頂けなかった方々にも当日の模様をお伝えいたし、併せて、記念行事に関わる収支について会員の皆さんにご報告いたします。

**【記念行事】**

- 第一部 記念式展 14:00～14:30 於：北館1階「ファカルティホール」
- |       |                  |      |        |
|-------|------------------|------|--------|
| ○開会挨拶 | 50周年記念行事実行委員会    | 委員長  | 西室 泰三  |
| ○会長挨拶 | 国際関係会・IIR/OB・OG会 | 会長   | 石原 渥勇  |
| ○祝辞   | 慶應義塾大学           | 常任理事 | 田中 俊郎氏 |
| ○表彰   | ホストファミリー 渡辺 美恵殿  |      |        |
|       | 記念論文コンテスト入選者     |      |        |

司会：安倍 宏行君（23期）

古稀を過ぎて益々お元気な1期の先輩から、OB・OG会に仲間入りしたばかりのフレッシュな49期まで、169人の会員が一堂に会した創立50年を祝う会は、第一部の記念式典で幕を開けました。セレモニーに相応しいフォーマルな雰囲気の中にも、血のつながりを感じさせるような和やかさが漂い、それぞれが往時を思い起こしながら、改めて50年の時間の経過を実感しました。

IIIRの活動を陰で支えて頂いた多くのホストファミリーの方々を代表して、30年近くに亘りお世話を続けて下さった渡辺美恵殿に、会長から心からのお礼の言葉と感謝状を差し上げました。

50周年を機に、「これからのIIIR」のテーマで学生諸君から記念論文を募集し、40編近い応募の中から5名を入選とし、賞状・賞金を贈呈しました。

## 第二部 記念パネルディスカッション 14:40~16:30

テーマ：「グローバル時代—学生による国際交流の意義」

モデレーター：伊勢 桃代君（日本国連協会副理事長／IIIR・3期）

パネリスト：田中 俊郎氏（慶應義塾大学法学部教授・常任理事）

Aftab Seth 氏（慶應義塾大学院グローバルセキュリティ研究所所長  
デリー大学・第2回交換留学生）

菌部 明史君（国際コンサルタント／IIIR・15期）

スタンフォード大学・第15回交換留学生）

田中氏からは、2007年の塾の創立150年を契機に、更なるグローバル化を志向する塾の視点から、IIIRへの期待が述べられました。セット氏は、インドと日本との関係について、新たな世界観に基づく示唆が提示されました。菌部君は、スタンフォードへの留学以降、実務家として国際的な環境の中での活動から得られた現実的な提言がありました。伊勢君から、国連という場で、世界を日本を眺めて来られた立場から、IIIRが今後志向すべき方向についての多くの視点の提示がありました。

会場の参加者からも活発な意見の表明などが続き、予定の時間を超過し、レセプションのスタートの時間が迫り、ディスカッションは終了となりました。

学生諸君が、現在の国際的な環境を正しく認識し、新しい方向を目指すために、貴重な示唆を得られたものと思います。

## 第三部 記念レセプション 16:30~18:30 於：北館B階「カフェテリア」

会場内において、50年の活動を辿る史料を展示

賛助金拠出者に、50周年記念誌を贈呈

司会：森山 俊輔君（29期）

安岡 美佳君（44期）

I I R創立者の似鳥 誠君のご挨拶で乾杯し、開宴しました。

250人に及ぶ参会者で、会場は、渋谷駅前のスクランブル交差点のような混雑振りを呈しました。

スタンフォード初代の留学生B.K.マーシャル君親子、U B C初代のS.T.フカワ君夫妻、デリー第2回のA.セット君夫妻など草創期の懐かしい顔ぶれを囲んで、同期・同時代の輪ができ、会場全体が、学生時代に共有した時間を思い起こすアットホームな雰囲気に満たされました。

2時間がアットという間に過ぎて、実行委員長代行の4期種房俊二君の締め挨拶があり、学生さんのリードで全員で肩を組み合せて若き血を唱い散会となりました。

思い思いのグループで二次会へと流れ、当夜は三田周辺の飲み処は遅くまで賑わったそうです。

半世紀前と現在では、日本も世界も、その環境は大きく様変わりしていますが、人の心・人と人を結ぶ絆は、昔も今も変わりません。国際親善・相互理解というI I R創立時の精神は、グローバル化が進み、国境が消えつつある世界において、より切実で、且つ深刻・重要なテーマです。

I I Rが、新しい50年を拓く上で、今回の催事が、何かを点ずることができたとすれば、催行に携わって来た者として、望外の喜びとするところです。

賛助金の拠出にご協力を頂いた皆さん、当日ご参会を頂いた方々、記念誌にご寄稿下さった諸兄姉、また、実行部隊として運営を担ってくれた学生諸君、皆さんのお陰で滞りなく所期の目的を達することができました。

改めて、心からお礼を申し上げます。有難うございました。

また、2年間以上に亘り、デッサンを描き、構図を整え、色を乗せて仕上げるまで、ご苦労頂いた以下の委員の諸氏に対しても、全会員とともに、深甚なる感謝と敬意を表したいと思います。

実行委員／4期：種房俊二、荻田 浩、芦田 均、5期：金井好弘、6期：肥田良夫、安井志郎  
7期：小笠原正文、亘理 泰、8期：中江隆耀、渡邊宣子、9期：谷口昌男  
10期：加藤彰夫、森 由美、11期：伊藤 裕、25期：堀口聡美、39期：富田紀男  
学生：中尾 雄、邊見 力、宮ヶ原 英

記念誌委員／13期：岩田紘行、15期：田付晶子、16期：安富英子、32期：千代延勝利  
学生：千木良恭正

追而 「50周年記念誌」の残部があります。ご希望の方には、1部3,000円でお届けします。  
OB会幹事長・加藤彰夫君までお申し込み下さい。(080-1131-7925)

以上

[参加者]

	計	国内	海外	
出席者/計	261	253	9	
会員	169	166	3	
学生	58	58		
交換学生	7	3	4	
招待者	18	18		
同伴者	9	7	2	

(交換学生)

Stanford 大：年間/ Byron K. Marshall (第1回)、Glen S. Fukushima (第15回)  
 夏期/ Russell K. Kawahara、Liz Mulford  
 その他/ Lars Gantzel (受入)

U B C： 年間/ Stanley T. Fukawa

Delhi 大： 年間/ Aftab Seth

(招待者)

塾：田中俊郎 (常任理事)、坂本達哉 (国際センター所長)  
 石黒敦子 (総務部次長)、山崎敬夫 (広報担当課長)、小澤健策 (塾員センター課長)

IIR 顧問：伊丹レイ子、曾根泰敦

ホストファミリー：渡辺美恵、庄野美知子、多田道子、山田美紀子

学生関係：全塾協議会/石橋裕祐 (事務局長)、入江祐司 (事務次長)  
 福利厚生機関/清水絵未 (本部代表)

獨協大学国際親善倶楽部/吉田 純 (主将)、小向井康博 (副主将)、宇崎由佳 (渉外局長)

その他：田米秀子 (記念誌)

(会員)

期	会員数	国内	海外	不明	賛助金	出席者	期	会員数	国内	海外	不明	賛助金	出席者
1	17	12		5	7	4	26	8	4		4		
2	7	5		2	4	2	27	9	8	1		1	5
3	7	5	1	1	2	2	28	15	6	1	8	1	1
4	8	6	1	1	7	6	29	17	12		5	3	1
5	13	10		3	7	3	30	13	5	2	6		
6	19	18	1		6	7	31	20	10		10		
7	28	27	1		9	5	32	21	11	1	9	4	2
8	30	28	2		17	15	33	33	14		19	2	2
9	24	18	2	4	11	9	34	30	20	1	9	2	4
10	34	32	2		30	14	35	22	18	1	3	1	1
11	19	14		5	2	3	36	41	32	4	5	10	7
12	13	12		1	3	3	37	48	41	1	6	9	1
13	20	15		5	2	2	38	31	20	2	9	3	
14	19	15		4	7	4	39	25	17	1	7	3	3
15	38	31	4	3	16	5	40	43	28	2	13	6	8
16	18	10		8	4	2	41	36	19		17	3	2
17	20	14		6	2	1	42	31	27		4	1	3
18	14	8		6			43	31	24		7	1	
19	15	10		5			44	36	15	2	19		3
20	20	15		5	2	1	45	29	25		4	2	6
21	16	10		6	1		46	20	19		1		3
22	24	17	1	6	4	5	47	21	19		2		6
23	14	9		5	3	3	48	15	13		2		1
24	17	16		1	3	4	49	19	19				4
25	14	8	1	5	3	6							
計	1,082	791	35	256	204	169							

## 編・集・後・記

石原渥勇氏(1期)が再度会長に選出された2003年6月のOB・OG会総会における最大のテーマは、IIR創立50周年記念行事を2005年4月に開催することであった。それは今までの50年間のIIRの活動を振り返り、今後のIIRはいかにあるべきかを主軸にして種々の行事を行うことであり、そしてその中心が記念誌の発行であった。

役員会は小生にこの記念誌委員会担当を任命したが、全くの素人であるばかりでなく、私自身も仕事の上で海外出張が多いので辞退したが、他の役員もそれぞれ重要な役割を負わなければならない、石原新会長に請われるままに引き受けることになった。そこで集まった編集委員は、それぞれ仕事や家庭をやりくりしながら目標に向けて一步一步前進し、東京での会合は実に30回を超えた。

印刷・製本事業に精通する岩田紘行君(13期)、千代延勝利君(32期)、国際的活動や海外生活に豊かな経験をもつ田付晶子君(15期)、安富英子君(16期)、また海外事業、企業に豊富な経験をもつ小笠原正文君(7期)、現役では試験期間もいとわず交替で出席をしてくれた3人(千木良恭正君、邊見力君、宮ヶ原英君)、そして歴史を語る上で最も重要な年表作成に携わり、委員会が壁にぶつかった時、いつも適切なアドバイスをくれた加藤彰夫君(10期)と、まさに年代を超えた強力なメンバーが編集の柱となった。企画の内容、編集、製本、投稿者とのコンタクト等を彼らに全面的に任せることができたおかげで、小生は記念誌委員会を継続開催することに専念できた。

この記念誌が記念行事式典で、皆様のお手元に届けられることは大きな荣誉である。しかしながらその背景には、全編集委員のIIRに対する篤い思いとその発展を願う気持ちがエネルギーとなり、その誕生が可能になったことを皆様にご報告したい。編集に際して、各期みんなが偏ることなく原稿を寄せることを目指したが、結果的に各年代へ平等に振り分けることは困難であった。また側面から協力してくれた、富田紀男君(39期)、安岡美佳君(44期)、千葉稔弘君(45期)、および米谷瑞恵君(31期)、田中美和君(45期)にも感謝の気持ちを伝えたい。

●IIR50周年記念誌委員会委員長 巨理 泰(7期)

記念誌を発行するにあたり、ご多忙にもかかわらず貴重な文章をお寄せいただいた皆様に心より感謝申し上げます。

十分な準備ができていなかったために、OB・OG会員をはじめとし、留学生やホストファミリーなどお世話になった皆様全員に原稿をお願いできなかったことを残念に思っています。

IIRは会員一人ひとりにとって、青春の思い出の1ページであり「異文化に触れ、国際交流に貢献したい」という情熱が50年という歴史を支えてきたことを実感しました。

三十余回の編集会議を重ね、委員それぞれが最大の努力をして作り上げた記念誌だと満足しています。

最後に、この記念誌が皆様にIIRの歴史を今一度<sup>ひもと</sup>振り返っていただくきっかけになることを願い、編集長の挨拶とさせていただきます。

●編集長 岩田紘行(13期)

\*ご執筆いただきました皆様の肩書きおよび職歴は省略させていただきました。

慶應義塾大学  
国際関係会50年の軌跡

# IIR

Past・Present・Future

2005年4月24日発行

- 発行人 石原渥勇(1期)
- 編集人 巨理 泰(7期)
- 編集長 岩田紘行(13期)
- 編集委員 小笠原正文(7期)  
加藤彰夫(10期)  
田付晶子(15期)  
安富英子(16期)  
千代延勝利(32期)  
千木良恭正(50期)  
邊見 力(51期)
- カバー・表紙デザイン、  
カバー・本文イラスト  
田米秀子
- 本文デザイン  
榎クレセント
- 編集協力 淵野明美(9期)  
米谷瑞恵(31期)  
富田紀男(39期)  
安岡美佳(44期)  
千葉稔弘(45期)  
田中美和(45期)  
宮ヶ原英(52期)
- 編集・校正 飯田美智子  
吉川亮子
- 印刷 開成堂印刷株
- 製本 株DNP製本
- 発行所  
慶應義塾大学国際関係会  
創立50周年記念行事実行委員会  
三田部室  
東京都港区三田2-15-45  
TEL03-3453-0208  
日吉部室  
神奈川県横浜市港北区  
日吉4-1-1  
TEL045-562-1934

© IIR 2005, Printed in Japan